



## 新機能および変更された機能に関する情報

- [新機能および変更された機能に関する情報 \(1 ページ\)](#)

### 新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、現行リリースに至るまでにガイドの編成と特徴に加えられた主な変更点の概要を示しています。ただし、今リリースまでのガイドにおける変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

表 1: *New Features and Changed Behavior in Cisco Cloud APIC for Release 25.0(3)*

機能または変更	説明	参照先
Cisco Cloud Services Router 1000v から Cisco Catalyst 8000V への移行	Cisco Cloud APIC リリース 25.0(3) 以降、Cisco Cloud Services Router 1000v から Cisco Catalyst 8000V に移行します。	
Cisco Cloud Services Router 1000v および Cisco Catalyst 8000V で使用される用語	<p>上記の2種類のルーターには、次の用語が使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>CSR</b>: Short for Cloud Services Router. Refers to the Cisco Cloud Services Router 1000v, used in releases prior to release 25.0(3).</li><li>• <b>CCR</b>: Cisco Cloud Router の略。リリース 25.0(3) 以降で使用される Cisco Catalyst 8000V を指します。</li></ul> <p>さらに、このドキュメント全体で、CCR は、リリースに応じて、上記のいずれかのルーターの総称として使用されます。</p>	

機能または変更	説明	参照先
マルチサイト オーケストレータの名前の変更	Orchestrator (MSO) は、2021 年 8 月 15 日の MSO リリース 3.4.1 から (NDO) に変更されました。Cisco ACI Multi-Site Cisco Nexus Dashboard Orchestrator この Cisco Cloud APIC ドキュメントでは、MSO のすべてのインスタンスが NDO になりました。	

表 2: リリース 25.0(2) の Cisco Cloud APIC での新機能と動作変更

機能または変更	説明	参照先
Cisco Cloud APIC の AWS での複数 (2 つ以上) のアベイラビリティゾーンをサポート	Cisco Cloud APIC の AWS の複数 (2 つ以上) のアベイラビリティゾーンをサポートが提供されるようになりました。	<a href="#">Cisco Cloud APIC ポリシーモデル</a>
AWS でルーティングとセキュリティ ポリシーを個別に構成するためのサポート	リリース 25.0(2) 以降、ルーティング ポリシーに対して次の更新を利用できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>内部 VRF ペア間のルートマップ ベースのルートリークをサポート</li> <li>内部 VRF ルートリークポリシーのサポート。これにより、内部 VRF のペア間で契約ベースのルーティングまたはマップベースのルーティングを使用するかどうかを選択できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><a href="#">Cisco Cloud APIC の概要</a></li> <li><a href="#">Cisco Cloud APIC コンポーネントの設定</a></li> </ul>

機能または変更	説明	参照先
CCR IPsec tunnels can now use any of the three available data interfaces for external branch connectivity	<p>Prior to release 25.0(2), all the tunnels to external networks are originated from one specific interface on the CCR router (the GigabitEthernet3 interface, or cloudHostIfp-2).</p> <p>リリース 25.0(2)以降、サポートが拡張され、同じ宛先へのトンネルを GigabitEthernet2、GigabitEthernet3、および GigabitEthernet4 インターフェイスから形成できるようになりました。これは、IKEv2 構成のトンネルでのみサポートされます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco Cloud APIC の概要</a></li> <li>• <a href="#">Cisco Cloud APIC コンポーネントの設定</a></li> </ul>
ワークロードデプロイ用のクラウドリージョン数の増加のサポート	<p>リリース 25.0(2) より前では、サイトごとに最大 4 つのリージョンを持つことができます。リリース 25.0(2) 以降、サイトごとに最大 16 のリージョンを持つことができます。</p>	

表 3: リリース 25.0(2) の Cisco Cloud APIC での新機能と動作変更

機能または変更	説明	参照先
Cisco Cloud APIC のリリース番号の変更	<p>リリース 25.0(1) 以降では、Cisco Cloud APIC のリリース番号が変更されています。Cisco Cloud APIC のリリース順序は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 4.1(x) (AWS のみのサポート)</li> <li>• 4.2(x)</li> <li>• 5.0(x)</li> <li>• 5.1(x)</li> <li>• 5.2(x)</li> <li>• 25.0(x)</li> </ul>	

機能または変更	説明	参照先
Cisco Cloud APIC での Prometheus Node Exporter のサポート	Prometheus ノードエクスポートは、リリース 25.0(1)以降から Cisco Cloud APIC でサポートされています。	<a href="#">システムの詳細の表示</a>
Support for IPv4 connectivity from the infra VPC CCRs to any external device with IPSec/BGP.	Support is now available for IPv4 connectivity from the infra VPC CCRs to any external device with IPSec/BGP.	<a href="#">外部ネットワーク接続</a>
外部接続の設定時に、セキュリティ ポリシーに関係なく、内部 VRF と外部 VRF の間でルーティング ポリシーを個別に設定するためのサポート。	外部接続の設定時に、セキュリティ ポリシーに関係なく、内部 VRF と外部 VRF の間でルーティング ポリシーを個別に設定するためのサポートが利用できるようになりました。	<a href="#">サポートされているルーティングとセキュリティ ポリシーの概要</a>